

3 ICT（情報通信技術）の活用

現状と課題

本市は、全国に先駆けて総合的な行政情報システム構築に取り組み、情報インフラを整備したこともあり、電子自治体の先進都市と評価されています。

市民アンケートによると、パソコンや携帯電話などを使用して「週1回以上インターネットを利用する」と答えた人の割合は約7割に達しており、市民の日常生活でのICT（情報通信技術）利用が進むなか、ホームページが市の有効な情報発信手段の一つになっています。

今後、地方分権が進むなかで都市間競争を勝ち抜き、魅力的なまちであり続けるためには、業務単位・組織単位を超え、行政経営の視点に立った、より高度なICT活用への取り組みが重要となっています。

ICTの活用にあたっては、すべての市民に有用であること、安心と信頼が確保されていることが求められ、情報格差の解消と情報セキュリティの強化が必要となります。

基本方針

戦略的な行政経営を支える高度なICTの利活用と情報セキュリティの強化を図り、「住民第一義」を基本に、すべての市民に信頼され、誰もがICTの恩恵を受けることができる「心かよう、開かれた電子自治体」を目指して、情報化施策を推進していきます。

主要な施策展開

（1）ICTによるコミュニケーションの活性化

市ホームページのより一層の機能向上を図り、広く・深く・迅速な情報提供を推進するとともに、情報共有、コミュニケーションが可能なツールとして、市民参画・協働における各種取り組みに積極活用していきます。また、すべての人々にとって、簡単で使いやすいICTの利用を目指して、情報格差の解消に努めます。

（2）ICT活用による全体最適化の推進

ICTを活用した行政の高度化、簡素化、効率化にあたっては、行政経営の視点で、行政事務そのものを見直すことによる全体最適化を目指して取り組みます。また、行政経営に必要な各種データを有効に利用し、戦略策定・意思決定を支援するためのシステムを整備します。

（3）情報セキュリティの強化

庁内におけるセキュリティ教育・研修、内部監査を充実し、システムの安全対策、情報の適正管理、機密保持といった情報セキュリティの確保を徹底します。

また、緊急時に対応できる事業継続計画（BCP）を整備し、どのような状況下においても、必要な市民サービスを維持、提供可能な体制づくりを行います。

まちづくり指標

< 目標の考え方 >

ICTを積極活用し、市民との情報共有、情報提供を促進するため、ホームページの充実を図るとともに、情報セキュリティを強化する取り組みを進めていきます。

重点	指標名	単位	現状値（H18）	目標値（H30）	指標方向
	市ホームページを利用している人の割合	%	22.2	75.0	
		式	市民意識調査		
	H30目標値の設定理由				
	情報セキュリティ内部監査実施率	%	6.0	100.0	
		式	内部監査を実施している課・グループの割合		
	H30目標値の設定理由				